

美浦村長 中島 栄 様

むらづくりに関する提言・要望

美浦村議会議長 石川 修

美浦村議会議員会長 沼崎 光芳

議会は、本年2月に行われた商工会との一般会議に続き7月3日に第2回の一般会議を開催しました。一般会議は、直接村民より村政に関する要望を聴き、それを議会として政策提言するべく、意見交換を行い、議会全体で検討した上で、その提言・要望を村政に反映させられるよう立案することを目的としたものである。

今回は、JA茨城かすみ、JA稲敷の両農協と農業団体の代表者と意見交換を行い、様々な意見・要望があった。そのすべてにおいて、喫緊に取り組むべき課題として、今後協議・検討を続けるものばかりであった。

美浦村の農業の振興や魅力ある営農体制の確立、さらには農業を通じた地域発展の基盤となるプロジェクトの推進の際、今回の提言を反映するよう、下記のとおり提言・要望する。

記

【1】まちおこしのブランド化の推進やPRについて

- 農産物価格の低迷等農業経営環境の変化への対応、米政策推進の観点からも美浦村産農産物の需要喚起・拡大と特産物（ブランド化）等の育成をすること。
- 美浦産農産物をブランド化し、より広く普及させるため、加工品の開発等を含めた6次産業化に向けた取り組みを、各関係機関等と協力し実施すること。
- 村内にある農産物直売所は、営業日が限られており、実際に本村を訪れた者が美浦村産農産物を手にする機会が少ない。イベント等に限らず、農産物の販売所を広く開設できるよう助成し、美浦産農産物のPRを積極的に進めること。

【2】もし物産館が建設されるとしたらどのような協力ができるか

- 国道125号バイパスの開通が未定の中、先の見えない計画を策定するのではなく、数年後の実現性の高い計画の検討を進めること。
- 建設・経営の手法については、民間活力などの導入を検討し、大谷地区計画推進協議会）との協力も視野に入れ、立地場所の選定、商品の供給、費用対効果を十分に協議し、ここが美浦村の拠点となるよう一体的な進行をすること。

【3】後継者不足問題について

- 農業者の高齢化に伴い、多様な担い手の就農が望まれる。農業者が経営を安定させ、後継者に対して魅力ある農業になるよう、農業者の所得向上に向けた技術指導や仲間作り等の研修制度について、各種団体等と連携し支援をいただくとともに、補助制度の拡充を国・県等に対して働きかけをすること。

- 機械等の農業経営にかかる経費は高額で、多くの資金が必要となることから後継者不足の一因となっていることから、新たな農業機械の購入等に対しての助成など、支援策を講じること。

【4】その他

- 最近では目にしない“**We Think E, MIHO**”この取り組みについて再度検証し、行政と農業者の意思統一を図り、農業者の活力の向上に努めること。
- 農業は、社会環境あるいは環境保全の観点からも必要と考える。安定した農業経営のために個別所得補償制度は、必ず必要である。今後も継続されるよう国や県などに陳情するなど最大限の努力をすること。

平成25年9月17日

以上